

あなたの企業の一員に

京をつなぐ

平成26年度
第IV四半期

◆◆◆ 保証季報 ◆◆◆



▶ 平成26年度 事業概況

▶ 京のイチオシ企業

株式会社 傳來工房

▶ 金融機関紹介

京都銀行 城陽支店

▶ 海の京都

与謝野町

▶ お知らせ

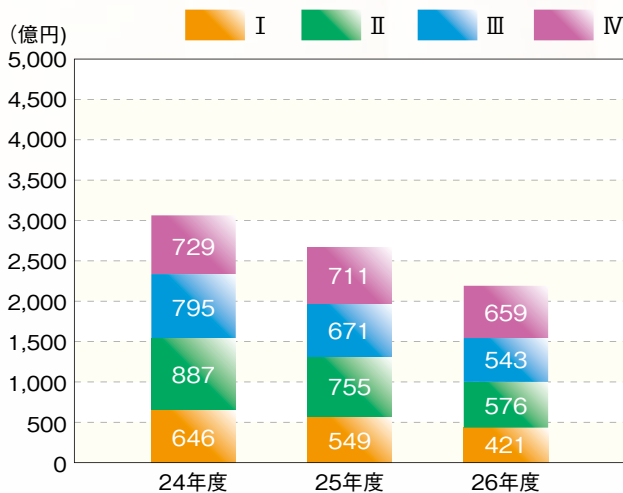
- ・平成27年度の京都府・京都市協調融資制度について
- ・第4次中期事業計画および平成27年度経営計画を策定
- ・京都再生ネットワーク会議・役員懇談会開催
- ・ホームページをリニューアルしました
- ・創業リーフレットを作成しました
- ・協会組織図



保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	2,557	42,136	88.4	76.7
II	3,299	57,634	92.0	76.4
III	3,030	54,311	87.8	80.9
IV	3,130	65,949	96.2	92.8
年度累計	12,016	220,030	91.2	81.9

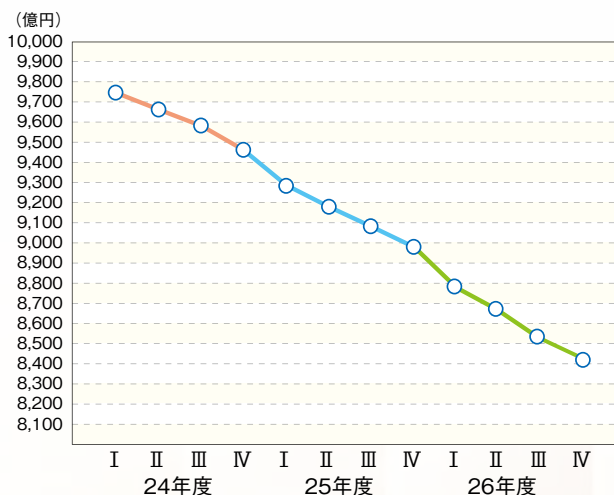


平成26年度第IV四半期の保証承諾は3,130件、659億49百万円となりました。
前年度と比べ件数で96.2%、金額で92.8%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	56,470	879,835	97.8	94.8
II	56,506	867,934	98.3	94.5
III	56,195	853,217	98.1	93.9
IV	55,761	841,067	97.9	93.7

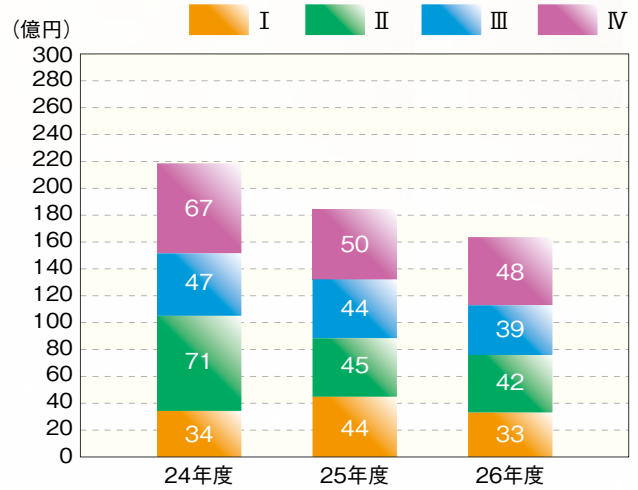


平成26年度第IV四半期の保証債務残高は55,761件、8,410億67百万円となりました。
前年度と比べ件数で97.9%、金額で93.7%となり、件数、金額ともに前年度をやや下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	189	3,262	79.7	74.5
II	226	4,203	100.9	93.3
III	245	3,928	101.2	89.7
IV	262	4,811	98.9	95.4
年度累計	922	16,204	95.2	88.5



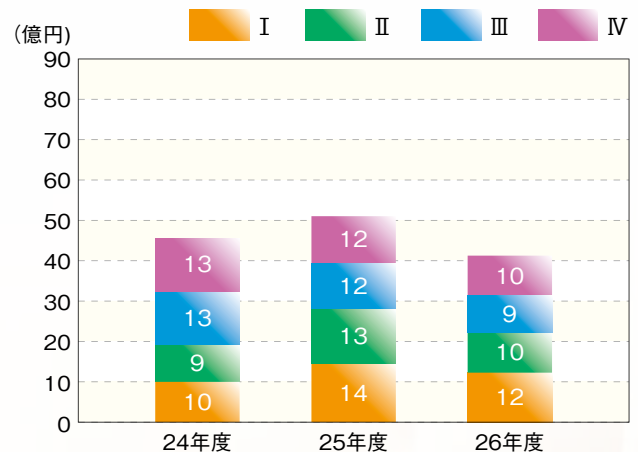
平成26年度第IV四半期の代位弁済は262件、48億11百万円となりました。
前年度と比べ件数で98.9%、金額で95.4%となり、件数、金額ともに前年度をやや下回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	78	1,221	91.8	88.9
II	59	985	83.1	78.1
III	80	897	93.0	76.2
IV	76	1,022	91.6	86.8
年度累計	293	4,126	90.2	82.7

※損害金回収を含む。件数は完済分。



平成26年度第IV四半期の求償権回収は76件、10億22百万円となりました。
前年度と比べ件数で91.6%、金額で86.8%となり、件数、金額ともに前年度を下回りました。

保証承諾

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	789	12,649	88.7	76.3
5	832	13,651	81.9	72.6
6	936	15,837	94.8	81.0
7	1,071	17,508	92.9	75.6
8	980	15,879	94.7	79.0
9	1,248	24,247	89.4	75.3
小計	5,856	99,771	90.4	76.5
10	858	14,173	80.5	68.7
11	868	15,150	95.2	84.7
12	1,304	24,989	88.5	87.4
1	659	12,539	84.5	81.5
2	971	20,045	95.6	92.2
3	1,500	33,365	102.9	98.2
小計	6,160	120,260	91.9	87.0
累計	12,016	220,030	91.2	81.9
事業計画	—	270,000	—	—
全国累計	714,340	8,939,404	97.6	96.1

*全国累計は速報値

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	56,770	893,793	97.6	94.8
5	56,609	885,441	97.8	94.8
6	56,470	879,835	97.8	94.8
7	56,428	875,106	98.0	94.7
8	56,455	870,474	98.1	94.6
9	56,506	867,934	98.3	94.5
上期平残	56,540	878,764	97.9	94.7
10	56,360	861,853	98.2	94.1
11	56,212	855,589	98.2	94.0
12	56,195	853,217	98.1	93.9
1	56,005	846,621	98.0	93.7
2	55,911	841,514	98.1	93.6
3	55,761	841,067	97.9	93.7
下期平残	56,074	849,977	98.1	93.8
年度平残	56,307	864,370	98.0	94.3
事業計画	—	850,000	—	—
全国累計	2,949,577	27,701,551	96.1	93.0

*全国累計は速報値

代位弁済

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	49	1,033	73.1	93.9
5	63	1,118	76.8	60.9
6	77	1,110	87.5	77.0
7	64	1,072	152.4	155.7
8	84	1,504	109.1	119.0
9	78	1,627	74.3	63.7
小計	415	7,465	90.0	84.0
10	75	1,154	64.1	56.0
11	87	1,427	145.0	150.5
12	83	1,347	127.7	98.5
1	90	1,667	108.4	94.7
2	87	1,797	124.3	166.5
3	85	1,347	75.9	61.1
小計	507	8,739	100.0	92.8
累計	922	16,204	95.2	88.5
事業計画	—	25,000	—	—
全国累計	49,771	526,570	82.2	80.9

*全国累計は速報値

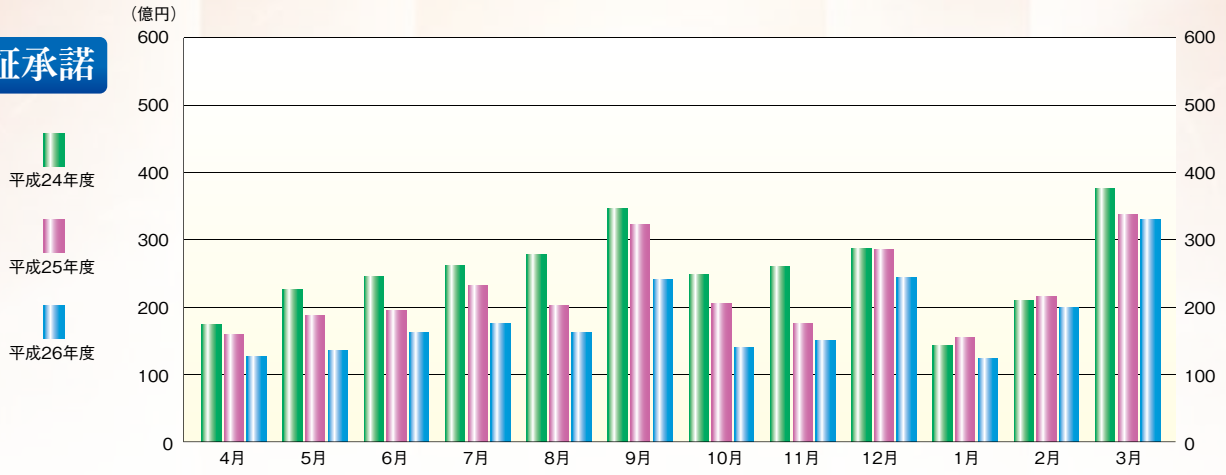
求償権回収

(単位：百万円、%)

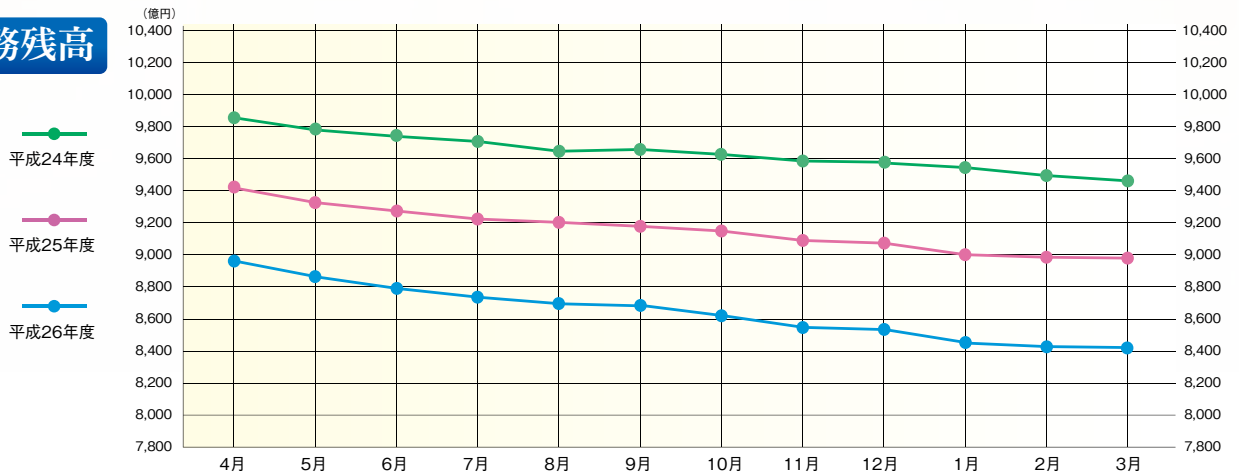
月別	件数	金額	前年度比	
			件数	金額
4	19	297	67.9	71.7
5	30	400	103.4	76.9
6	29	524	103.6	119.3
7	24	330	80.0	81.6
8	20	273	87.0	108.8
9	15	382	83.3	63.0
小計	137	2,206	87.8	83.7
10	26	254	113.0	76.2
11	13	204	54.2	62.6
12	41	440	105.1	84.6
1	16	183	106.7	47.6
2	28	214	87.5	49.3
3	32	625	88.9	174.4
小計	156	1,920	92.3	81.5
累計	293	4,126	90.2	82.7
事業計画	—	4,200	—	—
全国累計	—	149,770	—	89.2

*損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

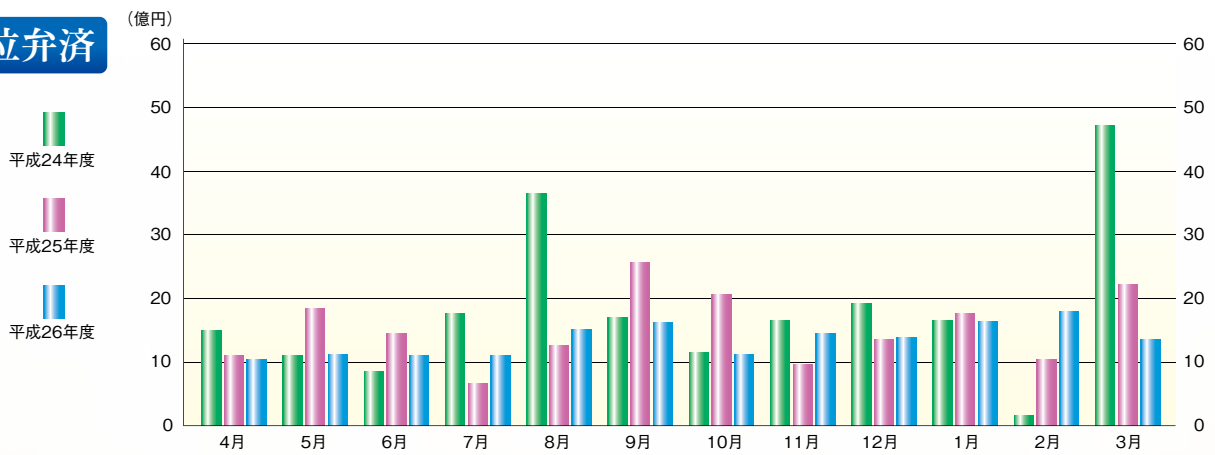
保証承諾



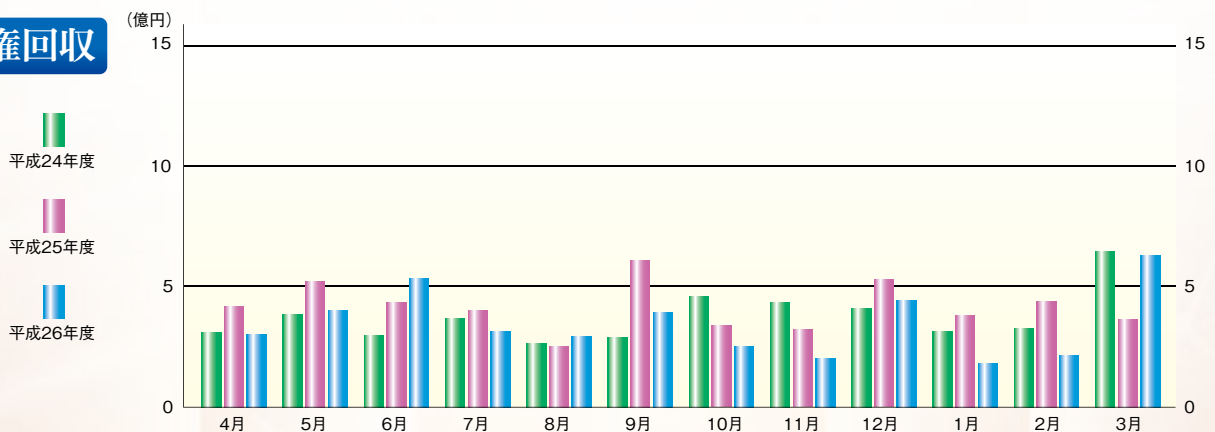
保証債務残高



代位弁済



求償権回収



私がご紹介いたします！



京都中央信用金庫
吉祥院支店
松本 寛様

平安時代から受け継ぐ鋳物技術^{（注）}を現代に伝え、住宅エクステリア製品製造に生かされています。「環境整備」を実践した職場内の整理整頓や掃除の徹底ぶりは見事で、これが製品の品質向上にも役立っていると、全国から多くの方が工場見学に来られるほどです。

京のイチオシ企業

best recommended

◆◆◆ 株式会社 傳來工房 ◆◆◆

京都吉祥院に本社を構える株式会社傳來工房^{（注）}は、平安時代に創業された老舗企業です。代々続く鋳造技術で寺社仏閣の仏具・装飾具の製造や重要文化財の復元などに携わってこられました。近年は、鋳造だけでなく住宅建築や住宅エクステリア製造も手掛けられ、古の技術が活かされています。このたび同社の橋本和良社長にお話を伺いました。



世界最大の金属彫刻レリーフ（JR大阪駅1Fエントランスメインロビー）



“傳來”に秘められた歴史と技術

同社の歴史は、平安時代に弘法大師が遣唐使として当時最先端の青銅鋳造技術を日本へ伝え、京都葛野^{（注）}で鋳造技術集団“傳來”を発足させたことから始まります。発足以降、代々最高の技量を持つ一番弟子が“傳來”の銘を襲名し、大正7年に現社長の祖父が継承されました。戦後は「橋本合金鋳造所」の名で旧来の青銅製装飾金具鋳造から近代の機械部品鋳造に進出されました。現在は“傳來工房”の名に戻り、優れた鋳造技術を今に伝えています。

今まで手掛けてきた代表作には、皇居の二重橋正門前ブロンズ高欄や最高裁判所の正面上部彫刻レリーフがあり、他にも橋のランドスケープや建物のフェンスなど、取扱いは多岐に亘ります。また全国から受注があるため、大小の違いはあるものの同社の技術の数々は全国各地で見ることが出来ます。もしかすると、あなたも既に巡り合っているかもしれません。

環境整備 ～工場は最高のショールーム～

伝統の鋳造技術と共に同社を代表するものが「環境整備」です。社長はこの環境整備を経営の根幹だと語られます。「単

なる5S活動ではなく、礼儀・規律を重視しています。当社にはたくさんのお客様が来られます。環境整備を徹底した従業員の応対に感動されて、お客様自ら良い製品と褒めていただけます。営業マンはお客様が当社へ足を運んでいただくことに注力しています。」さらに詳しく聞いてみました。「環境整備を行うにあたっては、定位置・定品・定量という「3定」を掲げ、徹底しています。創意工夫を促すため、私が適宜ハードルを上げて従業員に伝えてもらいます。これにより、現状改善が図られるだけでなく、成功体験による自信も深まります。」“変化を促す”という環境整備が、同社の成長に繋がっていることを強く感じました。

実際に社内を見学してみました。まず私達が工場に入ると、従業員の皆様が手元の作業を止めて、一斉に挨拶をされます。作業環境を見てみると、工具が定位置に種類毎に吊るされています。量産する製品についても一目で量が分かるように納入ケースに線が引かれ、定量に達したところで納品する仕組みになっています。場所をオフィスに移すと、ここでも従業員皆様の挨拶に迎えられ、各々のデスクを開ければ最低限の文房具が青いシートを用いて定位置に配置されている様子が驚かされます。環境整備を導入されたいきさつを伺いました。「一時は飛ぶように売れた鋳物も、バブル崩壊で受注はめっきり落ち込みました。変化が求められる大事な時期に何か打開策はないかと考えた末、社内に目を向けて求心力を高めるため環境整備



“Canna カンナ”を配置したモデルガーデン

傳來工房 従業員の皆さん

に着目しましたが、当初は社員の賛同を得られませんでした。そこで私が取った行動は朝一番に出社しトイレ掃除をすることでした。半年程続けると次第に役員が気付いて真似をするようになりました。徐々に他の社員にも広がり、現在では業務の一環で毎朝15分間を環境整備の時間に充てています。環境整備を導入したからこそ、従来とは違うアイデアで住宅エクステリア事業に踏み出せたと思います。」



「“Dea’s Garden デイズガーデン”のエクステリアが欲しい」

同社は近年、“Dea’s Garden デイズガーデン”ブランドで、主力事業となっている住宅エクステリア事業を展開されています。デザインから製作まで一貫して同社で行っているエクステリアは、他社と一線を画したデザインが人気です。「普通、物置の横でお茶を飲みたいと思わないですが、当社の物置は違います。」通常

物置は庭の景観を損ねますが、同社の“Canna カンナ”は暖かみを感じられるデザインが特徴です。まるで物置とは思えないため庭の装飾と一体となり素敵な空間を造りあげます。他にも、水栓やポストといった各々の役割に捉われずに、目にすれば理想の空間が浮かんで笑顔になれる優しい製品ばかりです。

販売においては、外構工事や庭を手掛けるエクステリア工事業者との特約店制度を導入しており、特約店契約先は全国各地で約400店にのぼります。「差別化されたデザインを直接お客様に提供する業者と特約店契約を結んでおり、ハウスメーカーや工務店の下請け企業とは取引していません。直接販売は行わず、当社に商品の問い合わせがあれば、お客様に最寄りの特約店を紹介しています。特約店の皆様とはwin-winの関係を築けるようにしています。」同社は“Dea’s Garden デイズガーデン”が住宅エクステリアのブランドとして広く知られることを目指しています。「エクステリア業界のブランドが無いので、『〇〇(メーカー)のテレビが欲しい』と言うのと同じ感覚で『“Dea’s Garden デイズガーデン”のエクステリアが欲しい』と言われたいですね。」と真剣な眼差しで語られる社長の表情はとても印象的でした。

保証協会へメッセージ

保証協会は中小・零細企業にとって最後の砦です。必要とされる企業に対しては継続的なサポートをお願いします。

株式会社 傳來工房

代表者／橋本 和良
所在地／京都府京都市南区吉祥院新田貳ノ段町 45
従業員数／50名
事業内容／鋳造、住宅エクステリア製造、住宅建築
創業／平安時代初期
設立／昭和23年11月
資本金／2,000万円
URL／<http://www.denraikohbo.jp>



橋本 和良社長



京都銀行

城陽支店

京都府城陽市寺田袋尻21-2

支店の沿革

- 昭和46年9月22日
現在地に開設
- 平成4年10月5日
店舗新築のため仮営業所に移転
- 平成5年6月7日
店舗完成により元位置に復帰



支店管内の産業の特色及び 中小企業金融の取組みなどについて

当店の営業エリアである城陽市は、古くから金銀糸の製造が盛んであるほか、いちじくや寺田いもの栽培が行われていることでも知られています。また、最近では新名神高速道路事業が着実に進められ、新しい街づくりが期待されています。

そのような中、当店では行内外のネットワークを活かした適正な情報提供やビジネスマッチングを推進し、より質の高い金融サービスの提供に努めています。

保証利用推進の方策について

お客様のニーズに沿った円滑な資金供給に迅速かつ適切に対応できるよう、営業メンバー全員が日頃から制度融資の内容について理解し、制度創設や改定などの際にも様々な情報を共有できる体制を構築しています。



支店の
スローガン

『“一体感のある行動”を継続し、 存在感のある支店を目指そう！』

- ・支店の行員全員が営業に携わっているという意識を持つことで全員のベクトルを合わせる。
- ・地道な努力を積み重ね「種まきと刈り取り」を常々実施し、より高い目標にチャレンジする



これまでで一番心に残る体験

営業担当時代から中小企業の融資取引においては、企業先様の発展にとどまらず、その従業員や家族の方々の生活も左右するという意識で取り組んでまいりました。熱意が伝わったのか、「京都銀行と取引をしているが、本音はあなたと取引をしているつもり」というお言葉を何度か頂戴したことがあり、金融マンとして非常にやりがいを感じました。

職員の方々へのアドバイス

何事においても自分自身の可能性を追求することを忘れないでほしいと思っています。現状に満足した時点で後退がスタートするので、「今は全部できなくても、これはできる」ということから始め、日々の努力により自身のプラスアルファを積み重ねて下さい。

昨日より今日、今日より明日の精神で。

保証協会へメッセージ

中小企業者の経営安定・成長発展を支援するために、今後も貴協会との連携強化を図っていく必要があると考えます。地域経済の活性化を図るため、引き続きご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

『着眼大局・着手小局』

金融機関業務の多様化が進み、支店経営を含めて目先の結果に追われることも多いですが、何事もまずは目線を高くして全体像を想定した上で方針を決定し、行動に移す際にはきめ細かく対応していくことを心掛けています。

支店長のモットー

支店長
坂東 芳行様





海の京都

与謝野町



海の京都特集第4回目は与謝野町です。同町では『うらにし^{はたがみ}と機^{はり}神^{かみ}さまに育まれる縮緬^{ちりめん}の郷』をコンセプトに、海の京都事業を推進されています。与謝野町商工観光課様にご協力いただき、同町の海の京都戦略拠点「ちりめん街道」をご案内いただきました。

ちりめん街道の今昔 ～町並みの保存～

ちりめん街道は、江戸から昭和初期にかけてちりめん産業が栄えてきた、同町加悦の旧街道に面した地域を指します。「ちりめん」とは、^{たていと}燃りのない経糸と強い^{よこいと}捻りをかけた緯糸が織り成す細かい凸凹状のシボが特徴の織物のことです。

今回の散策にあたり、与謝野町観光協会の青木会長に案内していただきました。はじめに街道の北端にあたる旧加悦町役場庁舎(京都府指定文化財)を訪れました。この建物は昭和4年に当時最先端の耐震技術で建築された木造洋館で、左右対称の美しいデザインが印象的です。内部を見渡すと、埋め込み式の柱と等間隔で広がる筋交いが頑丈さを物語っています。



旧加悦町役場庁舎

ここで同町のコンセプトについて伺いました。「うらにし」は晩秋から冬にかけての丹後地方独特の気候を指し、晴れていても雨や雪が急に降り出すことを言います。湿気が必要なちりめん作りに適した気候です。また「機神さま」とは雷のことで、当時は雷が落ちると機が止まったため、雷が轟くと落ちないように皆祈りを捧げました。」

役場から街道に入りさらに進むと、どこか懐かしい町並みがあります。今日の「ちりめん街道」は、天正8年(1580年)頃、加悦に構えられた安良城の城下町として整備されたもので、街道はクラック型に4つの曲がり角が設けられ、たとえ敵襲があっても曲がり角に阻まれ容易に城に辿り着けない造りです。そんな城下町でした

が3年足らずで城主が亡くなり、城下町から市場町へと変わっていきます。江戸時代には丹後精好などの絹織物の生産地として、享保7年(1722年)に京都西陣からちりめん織りの技術が伝わった後は「丹後ちりめん」の産地として大きく発展しました。

街道を進むと特徴的な格子があることに気がきました。この格子は街道の随所で見られます。「色ものを扱う繊維業界の店構えにあり採光に適しています。切子(立子の上部が一定の長さで切られているもの)の数が四本のものが機屋格子、三本は糸屋格子、二本が呉服屋格子と呼ばれています。全てちりめん街道でご覧いただけます。」と教えていただきました。

当時は丹後ちりめんの一大産地としてのみならず、与謝峠を介して京都と丹後を結ぶ物流の拠点として発展し、様々な店が軒を連ね大変活気に満ちていたそうです。現在では当時の建物を残しつつ地域住民が静かに生活する場となっています。



ちりめん街道



与謝野町観光協会会長
青木 順一様

ちりめん作りの現場を訪ねて ～コンセプトツアーの整備～

街道を歩いた後は、名前の由来となるちりめん作りの現場を今回特別に体験させていただきました。初めに訪ねたのは羽賀織物様です。工場へ進むと、整然と並べられた数十台の機が忙しく動き、規則正しい機音を響かせています。機ごとに糸の種類や紡ぐ模様を変え、現在主流である多品種少量の注文に応じて、様々な反物が織り出されていました。模様作りは従来は紋紙^{もんがみ}を用いていましたが、現在は紋紙に代わって電子情報を入力できる機もあるようです。時の流れとともに進化するちりめん作りを垣間見ることができます。続いて、悉皆屋「小林」様にお邪魔しました。こちらでは、着物のシミ抜きをはじめ、染め直しやサイズ直し、また着物に合う小物のコーディネートなども行っています。染色やコーディネートなど、あらゆる組み合わせの中から、お客様の好みに合わせたこだわりの一枚を提案されています。



羽賀織物
羽賀 信彦様

羽賀織物内観

旧尾藤家住宅 ～町内随一の観光スポット～

ちりめん作りの現場を見た後は、ちりめんによって財を築いた旧尾藤家住宅を訪れました。尾藤家は生糸ちりめん問屋として北前船を持ち、商いを行っていた豪商です。特に十一代当主は銀行頭取や鉄道会社社長、そして町長などを務める加悦地区のリーダー的存在でした。

町内随一の観光スポットとして整備され、広い屋内見学にあたっては管理人が説明されています。早速案内に従い屋内を進むと、天井から棒で吊るされた不思議な神棚が佇んでいました。「恵方棚」と呼ばれる回転式の神棚で、お正月になるとその年の恵方の方向に正面が向けられ、榊、お神酒をお供えし、神様を迎え

ます。さらに進むとカラスの襖に目が惹かれます。カラスというと襖の柄としては敬遠される印象ですが、日本神話に由来する「八咫鳥ヤタガラス」のように縁起物として描かれているようです。これらの他にもこだわりの家具や調度品、装飾の数々で溢れています。

外観に目を向けると、増築された洋館が屋敷と一体になり和洋が融合した美しい姿を目にすることができます。京都府指定有形文化財たる所以であり、見事な調和に驚かされます。洋館内も統一された家具で調和が保たれており、落ち着いた館内から望める鬼退治伝説の大江山連峰は絶景でした。



旧尾藤家住宅



内観・洋館



内観・恵方棚

「まちづくり観光」を目指して

～海の京都・与謝野町実践者会議、与謝野町の取組み～

最後に、ちりめん街道に関して海の京都事業に取り組む、海の京都・与謝野町実践者会議の佐々木会長にお話を伺いました。「与謝野町の実践者会議メンバーには観光業に携わる人が少なく、住民目線で取組みを考えていることが特徴です。住民が豊かに暮らしているまちづくり、歴史・産業を守り繋げるようなまち並みの保存を考えています。まちづくりの延長に観光がある、“住んでよし、訪れてよし、住民が誇りを持てる”ような“まちづくり観光”を目指しています。観光客を単に迎合するのではなく、まちづくりを通して自然と足を運んでもらえるようになればありがたいです。」地域住民の暮らしに軸を置いた姿勢が強く伝わってきました。

一方、与謝野町では観光客向けのちりめん街道の説明板・案内板の改修などを手掛けており、来訪者へコンセプトを味わっていただけるように民・官が連携して取組みを進めています。



海の京都・与謝野町実践者会議会長
佐々木 貴昭様

住んでよし、
訪れてよし、
住民が誇りを持てる
まちづくり観光を
目指しています。

まめっこまいちゃんのコメント

はじめまして！
与謝野町のマスコットキャラクター「まめっこまいちゃん」です。
私は、おからや、米ぬか、魚あらを醗酵させた有機質肥料「京の豆っこ」を使用した与謝野産コシヒカリ「京の豆っこ米」をモチーフにした女の子です。
ちりめん街道は江戸から明治・大正・昭和初期にかけて、高級織物「丹後ちりめん」が隆盛を極めた場所です。
平成17年に「機音響く丹後ちりめんのまち」として国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、ちりめん産業により町を近代化した建造物たちが今も静かに佇んでいます。ガチャガチャと聞こえる機音、懐かしさを感じさせる木造・土壁の色彩となだらかな坂道が曲線を描く街道筋、朝夕響く子どもの声。
そんなちりめん街道を着物で歩いてみませんか？



与謝野町マスコットキャラクター
まめっこまいちゃん

お知らせ

平成27年度の京都府・京都市協調融資制度について

京都府・京都市協調融資制度が平成27年4月に改正されました。主な改正点は下記のとおりです。ぜひご活用ください。

- ①これまでに比べ、融資期間の伸長や融資利率の低減が図られました。
- ②風水害や地震等の災害に伴い被害を受けた中小企業者等が災害復旧に迅速に取り組めるよう、災害対策緊急資金を創設しました。
- ③開業・経営承継支援資金のうち、【創業等関連】および【創業関連】は保証料率を年1.0%から年**0.5%**へ大幅に引き下げました。

制度名	融資期間	融資限度額	融資利率
政策レート			
中小企業支援融資			
一般資金	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円	所定(固定) ▲0.2%
経営あんしん融資			
小規模企業おうえん資金	10年以内	ベース枠 1,250万円 【小口零細企業保証】 (保証協会の全ての保証付き 融資残高を含み1,250万円) ステップアップ枠 1,250万円 (一般枠の無担保保証8,000万円の範囲内)	事業実績6か月以上1年未満 の方は合計500万円 年1.2% 年1.7% ▲0.2%
あんしん借換資金			
緊急枠			
売上減少等	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円	年1.8%
経営力強化保証	運転 5年以内 設備 7年以内 借換 10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円	
セーフティネット枠	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 【経営安定関連】 無担保無保証人 1,250万円 <小規模事業者等> (別枠の全ての保証付き融資残高を含み1,250万円)	年1.2% (借換は年1.8%)
中小企業下支え資金	10年以内 ※特に必要と認められた場合 15年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 ※経営安定関連、事業再生計画実施関連を利用する場合は、 別枠の利用が可能	所定
中小企業再生支援資金	10年以内 ※特に必要と認められた場合	2億円	所定
ミニ長期安定資金	20年以内	1億円	
短期フォローアップ資金	運転 1年以内	無担保 8,000万円	
災害対策緊急資金			
一般枠	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円	年0.9%
セーフティネット枠		有担保 2億円 無担保 8,000万円 【経営安定関連】	
東日本大震災緊急資金	10年以内	有担保 2億円 無担保 8,000万円 【東日本大震災復興緊急】	
産業活力推進融資			
開業・経営承継支援資金			
開業一般型	10年以内	1,500万円 【創業等関連】 ※事業開始・分社化から6か月未満の場合は自己資金の範囲内	年1.2% ※⑦の場合は、金融機関 所定の固定金利
開業支援型		1,000万円 【創業関連】 ※事業転換・多角化の場合 1,500万円(一般枠) ※取扱金融機関から独自融資での借入れが決定している場合は、 独自融資での借入額の範囲内…⑦	
経営承継一般型		有担保 2億円 無担保 8,000万円 【経営承継関連】	
経営承継支援型		有担保 2億円 無担保 8,000万円	
地域産業振興特区資金	5年以上10年以内 設備 15年以内	10億円 ※普通保証利用可能額の範囲内	年1.7%以内 (固定)
和装産業取引改善等特別資金	10年以内	2億円	年1.7%以内

第4次中期事業計画(平成27年度～平成29年度)

および平成27年度経営計画を策定 ～第222回理事会において承認～

1. 第4次中期事業計画(平成27年度～平成29年度)

事業計画

(単位：億円、%)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	金額	対前年度計画比	金額	対前年度計画比	金額	対前年度計画比
保証承諾	2,100	77.8	2,100	100.0	2,100	100.0
保証債務残高	7,850	92.4	7,350	93.6	6,900	93.9
代位弁済	220	88.0	220	100.0	220	100.0
回収	38	90.5	38	100.0	38	100.0

2. 平成27年度経営計画

当協会は、府内中小企業者等の事業維持・発展のため、行政機関・金融機関・関係機関と密接に連携しオール京都体制により、これまで以上に中小企業者等に寄り添った伴走支援を行います。

また、コンプライアンスおよび危機管理態勢についても一層の強化を図り、より信頼される保証協会を目指すとともに風通しの良い職場環境作りと人材育成を進めていくこととし、以下に掲げる事項を主要項目として取り組んでまいります。

経営方針

1. 金融と経営の総合支援サービスの推進
2. 債権管理の合理化・効率化
3. コンプライアンス態勢の一層の推進とガバナンスの強化

事業計画

(単位：億円、%)

	平成27年度	平成26年度	対前年度計画比
保証承諾	2,100	2,700	77.8
保証債務残高	7,850	8,500	92.4
代位弁済	220	250	88.0
回収	38	42	90.5

京都再生ネットワーク会議(拡大開催)・役員懇談会開催

平成27年1月15日(木)、京都府中小企業会館にて平成26年度第2回京都再生ネットワーク会議を開催しました。
(通算23回目の開催。)

今回は「京都再生ネットワーク会議」発足10周年の節目にあたることから、地元金融機関の代表役員や行政機関の幹部との「役員懇談会」を開催し、地域中小企業の支援に対する意見交換において「地域の企業は地域の金融機関が支える」、「三方一両損の精神」というネットワーク会議発足時の共通認識を再確認することができました。

今回の会議の第一部では、当協会から平成26年度再生支援融資取組実績やモニタリング・フォローアップ実績の報告を行い、京都府中小企業再生支援協議会統括責任者の伊藤久人様からは同協議会の活動や協議会案件の最近の動きについて報告がありました。

第二部は、東日本大震災事業者再生支援機構代表取締役社長の池田憲人様より「Regional Retail Bank 利潤追求と社会の公器」というテーマでご講演いただきました。

池田様からは、足利銀行が国有化されたときの頭取として、銀行と地域の再生にご尽力された経験談や、東日本大震災事業者再生支援機構における支援先の出口対策、金融機関との関係強化についての新たな取組みなどをご講演いただきました。

会議終了後の池田様を交えた懇親会では、出席された方々との交流が図られ、更なる中小企業支援に向けた連携を深めることができました。



役員懇談会

<役員懇談会出席者>

- 東日本大震災事業者再生支援機構 池田社長
- 京都銀行 中村専務取締役
- 京都信用金庫 榊田専務理事
- 京都中央信用金庫 白波瀬専務理事
- 京都北都信用金庫 田中専務理事
- 近畿財務局京都財務事務所 加藤次長
- 近畿経済産業局 小菅中小企業課長
- 京都府 岡本商工労働観光部長
- 京都市 村上産業観光局長
- 京都信用保証協会 麻生理事長 森井副理事長
- 嵯峨専務理事 上原業務部長



ネットワーク会議第一部



ネットワーク会議第二部

<これまでの中小企業再生支援融資の実績>

1. 中小企業再生支援協議会二次対応企業に対する協会関与(平成26年3月末)

(金額単位:百万円)

	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	合計
企業数	0	10	14	18	11	17	20	15	17	49	68	239
従業員数	0	485	636	1,211	363	979	1,382	645	1,142	1,966	3,948	12,757
保証件数	0	24	43	55	28	37	64	59	51	129	158	648
保証承諾額	0	1,755	3,075	4,479	2,672	3,234	5,640	3,607	3,902	8,850	10,341	47,556

2. 京都府・京都市協調中小企業再生支援融資制度(平成17年4月創設~平成26年12月末)

(金額単位:百万円)

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	合計
企業数	93	66	52	59	55	74	64	78	109	46	696
従業員数	4,686	2,095	1,983	1,970	2,453	2,137	1,798	1,503	1,701	615	20,941
保証件数	179	139	99	147	178	215	185	236	266	103	1,747
保証金額	16,673	11,043	9,541	12,387	16,777	20,311	14,681	16,509	17,629	5,489	141,040

ホームページをリニューアルしました

ホームページを大幅にリニューアルしました。全体的に見やすさを重視したほか、新たに各種経営支援の取組みを紹介した「経営支援サービス」のページを新設しました。また、書式のダウンロードなどができる金融機関専用ページも近々開設する予定です。ぜひ、ご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.kyosinpo.or.jp>



トップページ



経営支援サービス

創業リーフレットを作成しました

このたび、京都府内の創業活性化を目指した創業リーフレットを作成しました。創業時に当協会をご利用いただいた方の創業に至る動機や経緯、資金準備、創業してからの計画とのギャップ、苦労話などを体験談として紹介し、創業を予定される方が具体的に創業をイメージできる内容を心がけました。

リーフレットをご希望の方は、本所業務部または最寄りの支所までお声かけください。



協会組織図(平成27年4月1日現在)

理事長 麻生 純

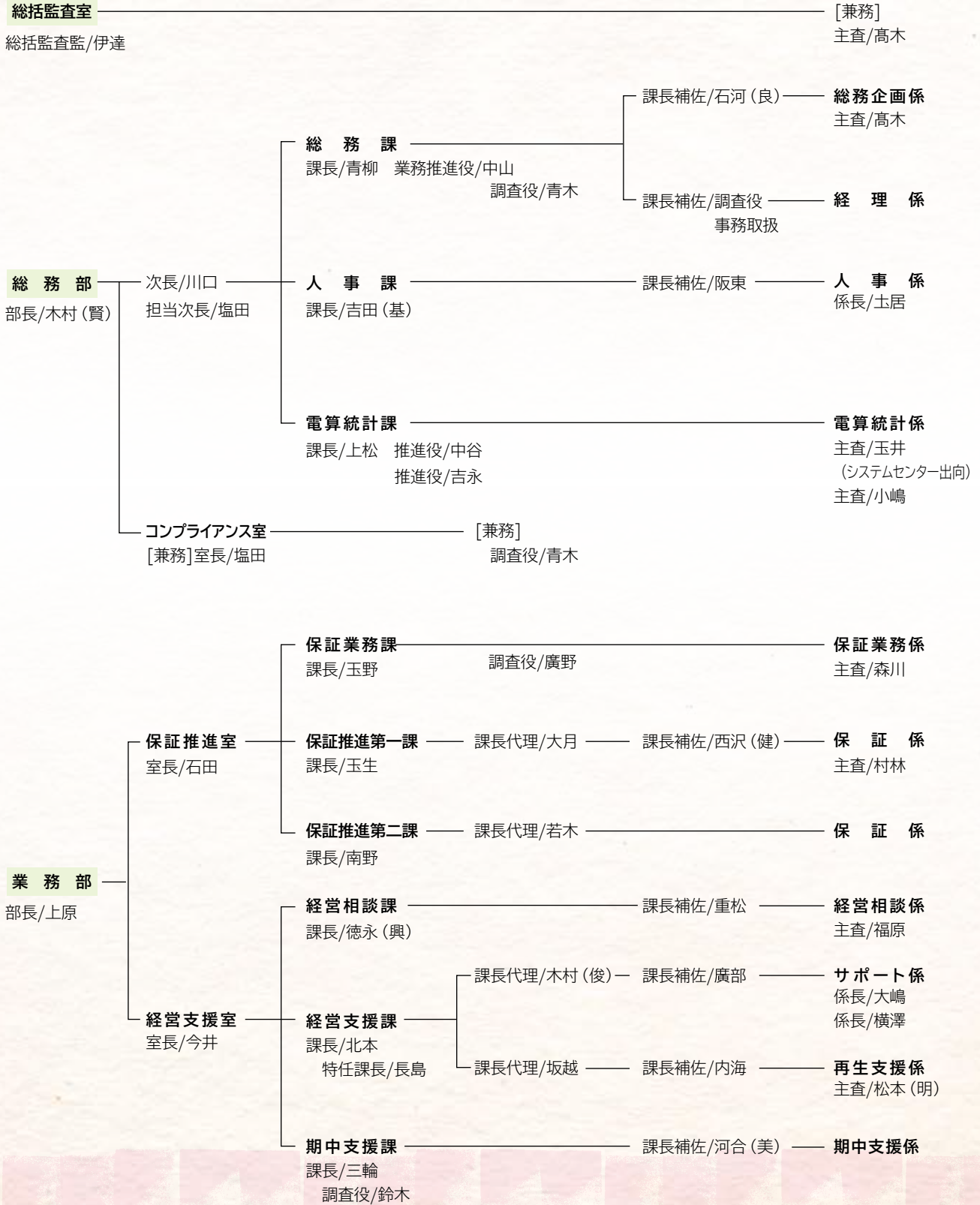
専務理事 嵯峨 哲夫 (担当:業務部)

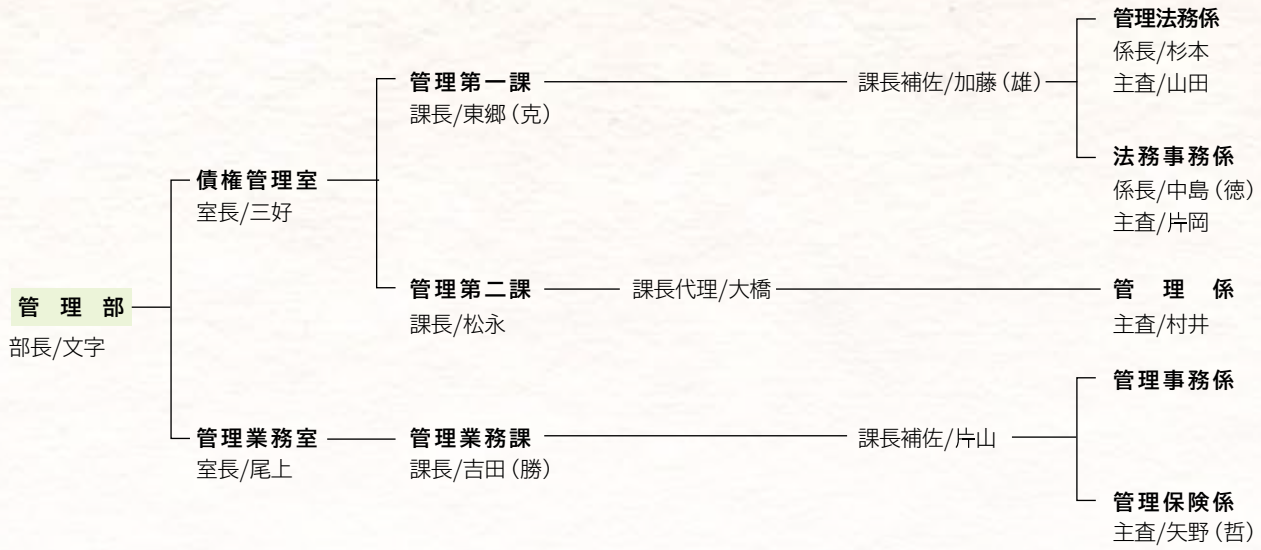
副理事長 森井 保光 (担当:総務部・支所)

常務理事 中西 康成 (担当:管理部)

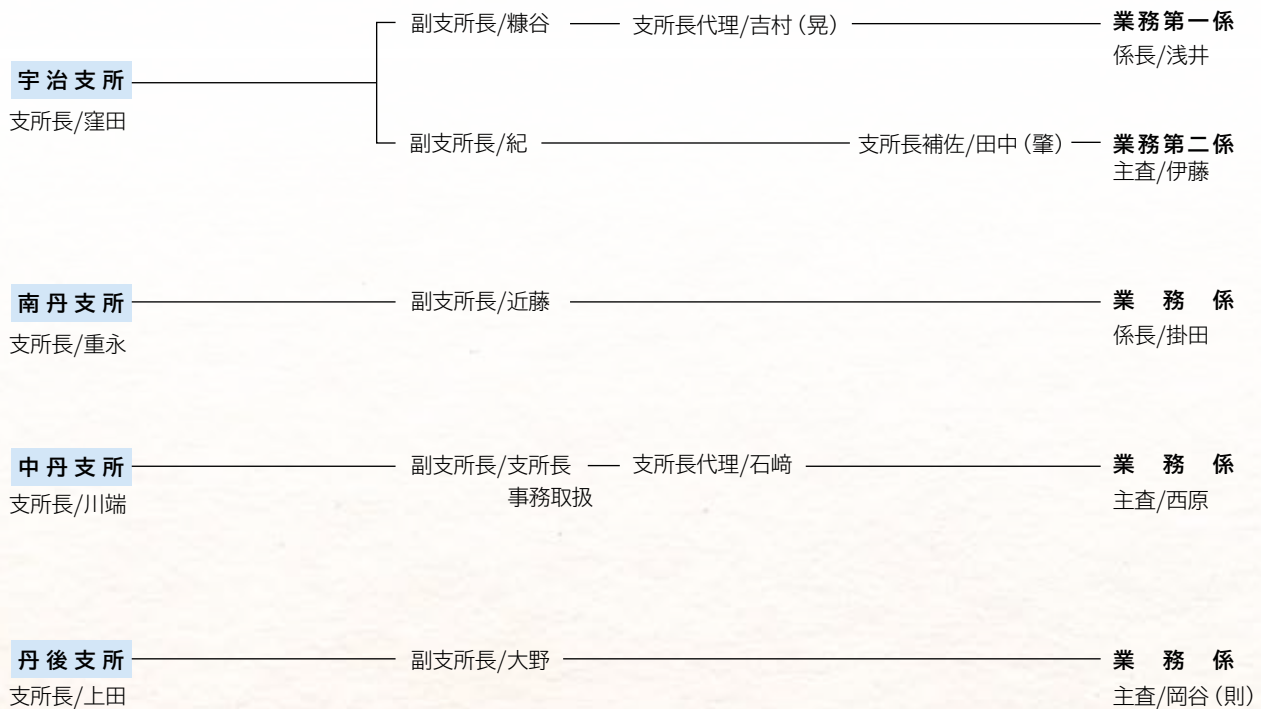


常勤監事 千代倉 重雄

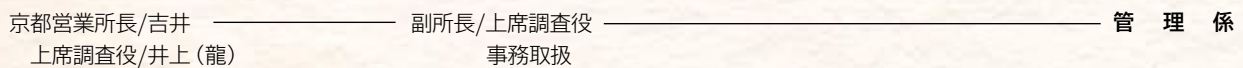




支所



保証協会債権回収(株) サービスー





本所

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17番地 京都府中小企業会館内

- 業務区域 / 京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡
- 業務部保証推進室の担当地域
保証推進第一課 / 北区、上京区、中京区、下京区、右京区、西京区
保証推進第二課 / 南区、伏見区、左京区、東山区、山科区、向日市、長岡京市、大山崎町

●電話	●FAX
保証業務課 : (075) 314-7221	(075) 314-2034
保証推進第一課 : (075) 314-7226	(075) 321-6117
保証推進第二課 : (075) 314-7227	(075) 314-8111
経営相談課 : (075) 314-7221	(075) 321-6117
経営支援課 : (075) 314-7222	(075) 321-3043
期中支援課 : (075) 314-7222	(075) 321-3043
管理業務課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
管理第一課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
管理第二課 : (075) 314-7225	(075) 322-1038
総務課 : (075) 314-7223	(075) 321-6331
人事課 : (075) 314-7965	(075) 321-6331
電算統計課 : (075) 314-7224	(075) 314-3545
総括監査 : (075) 314-7223	(075) 321-6331



宇治支所

〒611-0033

宇治市大久保町上の山36番地の7

- 業務区域 / 宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電話 / 保証関係 : (0774) 43-8822	●FAX / 保証関係 : (0774) 43-8899
管理関係 : (0774) 43-8823	管理関係 : (0774) 43-8824



南丹支所

〒621-0052

亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

- 業務区域 / 亀岡市、南丹市、船井郡
- 電話 / (0771) 22-1041 ●FAX / (0771) 22-6737



中丹支所

〒620-0804

福知山市石原2丁目24番地

- 業務区域 / 福知山市、綾部市、舞鶴市

●電話 / (0773) 27-6156	●FAX / (0773) 27-6158
----------------------	-----------------------



丹後支所

〒629-2503

京丹後市大宮町周積2226番地3

- 業務区域 / 宮津市、京丹後市、与謝郡

●電話 / (0772) 68-0601	●FAX / (0772) 68-0613
----------------------	-----------------------

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

<http://www.kyosinpo.or.jp/>



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。また、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。

第IV四半期の表紙



円山公園のしだれ桜

公園の中央に「祇園の夜桜」として有名な祇園枝垂桜があります。かがり火やライトアップも行われ、夜桜の名所として花見客で賑わいます。3月下旬～4月初旬にかけてシダレザクラが開花、続いてソメイヨシノ、ヤマザクラの順に咲き誇ります。